

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	日本語演習		
英文授業科目名	Advanced Japanese		
開講年度	2007年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-日本語・日本文化科目-日本語		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小山 慎治		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
skoyamaweb@gmail.com	

【主題および達成目標】
<p>必須項目。 主題と達成目標を以下の例のように(a), (b)と項目立てしないで、一文として記述しても結構です。 (例) (a) 主題：日本語による議論、発表の技術を学ぶ (b) 達成目標：グループ活動を中心に、討論、討論の結果の発表にいたる一連の活動の中で、論理的な議論の展開の仕方、論拠の示し方等を身につけることが主たる目的である。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
日本語第一 日本語第二 日本語第三

【教科書等】
授業中に指示する。 また、適宜プリントを配布する。

電気通信大学 平成19年度シラバス

【授業内容とその進め方】

この授業では、日本語による「議論」を経験するために、小グループでの活動を中心に授業を展開する。この活動に関わる文献調査、グループでの討論、調査等を課す。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、クラスへの貢献、レポートにより総合的に評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

グループ活動が授業の中心となるため、積極的にクラスに参加し、グループ内で問題が生じた場合でも、根気よく話し合う姿勢を持つ学生を特に歓迎します。

【その他】